

美並町文化財保護協会だより

第42号

令和8年3月

本会の今後の事業計画について！

5年前に「美並町の遺跡・史跡」を刊行して以来、本会の主な事業は、町内20地区の文化財巡りを行うことであった。その第一回は、勝原・黒地・東母野地区であり、第二回は梅原・深戸地区であり、第三回が木尾地区であった。今後は、まだ決まっていないが、順番からいくと第四回が相戸・三日市地区、第五回が八坂・根村地区と続いていく予定である。

「美並町の遺跡・史跡」で取りこぼした各地区に残されている伝承などを再発掘し、それを記録し編集して続編を刊行できたらと願っているのである。

そして、今後の計画であるが、「美並町の遺跡・史跡」がまだまだ町民の間に知られていないこと、したがって十分に活用されていないことを痛感するのである。そこで小学校・中学校の協力を得て、美並町の子どもたちの間に、本書をテキストにしてふるさとの歴史と文化を学ぶ機会を設けていけたらと切に願うのである。子どもたちにふるさと美並への愛情・誇りを抱いてもらうこと、それが未来への希望となり、生きる力となることを心より信じるからである。



美並町文化財保護協会 会長 古田 了

◆令和7年度～令和8年度 役員及び理事構成◆

会長・副会長・役員

役職	氏名
会長	古田 了
副会長	河合 利夫
副会長	山田 孝司
書記会計	小栗 均
執行役員 (事業)	和田 真
執行役員 (研修)	—
執行役員 (広報)	長尾 孝治
監事	高橋 照男
監事	池田 正廣

地区理事

地区名	氏名
木尾	佐藤 利弘
八坂	小栗 均
根村	長尾 孝治
下田	橋 詰正孝
高原	—
粥川	粥川 茂雄
赤池	—
杉原	池田 正廣
円山	—
くじ本	羽部 法懂
門福手	伊藤 美行
梅原	矢野 嘉光
深戸	高橋 照男
相戸	宇佐見 敏男
三日市	山田 孝司
上苅安	和田 真
苅安	亀山 設夫
福野	末松 洲廣
大矢	小森 孝司
勝原	末松 一朗

令和7年度 美並町文化財保護協会 活動状況

月 日	事 業 内 容	場 所
5月21日(木)	第1回 役員会 ・令和6年度事業報告並びに収支決算について ・役員改選・理事選任(案)について ・令和7年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について ・令和7年度総会について	日本まん真ん中センター
6月19日(木)	総会 ・令和6年度事業報告並びに収支決算について ・役員改選・理事選任(案)について ・令和7年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について	日本まん真ん中センター
11月18日(火)	市内文化財巡り（市文化財保護協議会主催） ・旧郡上街道下田宿・下田の渡し、古田邸内の見学	美並町 （下田地区巡り）
11月25日(火)	町内文化財めぐり ・木尾地区（甚次郎法事、木尾口番所跡）	木尾地区
11月28日(金)	文化財保護協会・文化協会合同研修会 ・西尾市岩瀬文庫（大河「べらぼう」関連図書企画展示） ・中埜酒造（國盛 酒の文化館見学） ・名古屋刀剣ワールド（刀剣博物館見学）	愛知県西尾市 愛知県名古屋市
3月31日(火)	「美並町文化財保護協会だより」発行	

役員会・総会

○美並町文化財保護協会 役員会

■令和7年5月21日（水）

日本まん真ん中センターにて第1回役員会が行われ、以下の議題と総会の開催方法や総会提出議案について協議をしました。

- ・令和6年度事業報告並びに収支決算について
- ・役員改選・理事選任（案）について
- ・令和7年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について



○美並町文化財保護協会 総会

■令和7年6月19日（木）

日本まん真ん中センターにて総会が開かれ、以下の議案について審議し承認されました。

- ・令和6年度事業報告並びに収支決算について
- ・役員改選・理事選任（案）について
- ・令和7年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について

総会終了後に美並の風俗、風習、信仰を撮影した「美並ふるさと伝承」のDVDを鑑賞しました。



行事・研修会

○美並町文化財保護協会・美並文化協会 合同研修会

■令和7年11月28日（金）

今年は、愛知県西尾市の古書ミュージアム「西尾市岩瀬文庫」と地元の老舗酒蔵「中埜酒造 國盛 酒の文化館」と、名古屋市の「刀剣ミュージアム」に総勢二十名で行って来ました。

西尾市岩瀬文庫は、明治の終わり実業家である岩瀬弥助が、本を通じた社会貢献を志して創設した市立図書館として誕生しました。

戦後に西尾市の施設となり平成十五年には日本初の「古書の博物館」としてリニューアルされました。岩瀬文庫は、重要文化財を含む古典籍から近代の実用書まで、幅広い分野と時代の8万冊余りを保存しています。

今年は、岩瀬文庫の百回の企画展を記念して、NHKの大河ドラマ「べらぼう」の主人公蔦屋重三郎が世に送り出した本が紹介されていることから研修先としました。当日は、専門の学芸員さんから、蔦屋重三郎の出版本について詳しく説明を受けました。

中埜酒造は、江戸時代初期に誕生し、創業百八十年の歴史を誇る酒蔵であり、「國盛酒の文化館」では、日本酒にまつわる文化遺産の伝承を目的に、旧工場で実際に使われていた伝統的な酒造りの道具や酒の歴史的資料、当時の職人の技が紹介されています。見学の終わりには、いろいろなお酒の試飲も楽しみました。



学芸員から説明を受けました



國盛の歴史について学びました

名古屋刀剣博物館／名古屋刀剣ワールドは、最大200振の刀剣・日本刀を展示することが可能で、国宝や重要文化財、重要美術品といった貴重な刀剣・日本刀を観ることができます。

さらに甲冑（鎧兜）や浮世絵等も常設されています。数々の刀剣や武具（火縄銃・西洋式銃など）の展示は迫力があり、刀剣や武具に興味のある方は、どれだけ時間があっても足りないくらいの展示内容です。

○ 市内文化財巡り（市文化財保護協議会主催）

■令和7年11月18日（火）

令和七年度の市内めぐりを美並の下田地区で実施しました。市内各地域から二十五名の参加があり古田邸をはじめ、旧郡上街道下田宿・下田の渡しについて、古田会長や地元の理事さんから説明していただき地域の歴史について学びました。



古田邸の当主さんから建物の説明を受けました

○ 町内文化財めぐり

■令和7年11月25日（火）

年度の文化財めぐりは、木尾地区で文化財巡りを実施しました。

今年度は、木尾地区で約三百七十年前から続いている「甚次郎法事（じんじろうぼうじ）」について十三名の参加者が地元の文化財保護協会理事さんから説明を受けました。

甚次郎法事とは、木尾村に生まれ育ち隣の須原村との水利権争いを収めるために木尾村の代表として犠牲となった「長門甚次郎」の霊を慰める報恩謝徳の仏事です。

この法事は、毎年十一月二十五日（甚次郎の没日）に地元の住民が地元の寺に集まり、住民による御詠歌「甚次郎法事和讃」を奉唱し、同寺住職により読経が行われ、読経終了後に甚次郎墓碑に移動して線香を手向けるものです。



墓碑前で甚次郎法事について説明を受けました



住民による御詠歌「甚次郎法事和讃」を奉唱

○ 「美並町文化財保護協会だより」発行

■令和7年3月31日（月）

あとかぎ

今年度は予定通りに事業を実施することができました。会員の皆様をはじめ、ご協力いただいた方々に感謝申し上げます。来年度も、文化財についてさらに学んでいけるような研修を実施していきたいと思っております。

また、会員の増加が課題であり、関心のある方の入会をお願いしてあとかぎとします。

（広報）

会員募集!!

美並町文化財保護協会では会員を随時募集しています。

この会の趣旨に賛同される方は、ぜひお申し込みください。

◇申込先 美並町文化財保護協会事務局

◇会費 年2,000円

◇電話 0575 - 79 - 3111

◇住所 〒501 - 4106

郡上市美並町白山430-3

美並振興事務所内